

大人のための情報モラル通信

「ネッ友」がいる子ども達について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

2024年に行われたインターネット調査※によると、回答が女子に偏り気味ですが、小学生では64.1%、中学生では74.6%に「**ネッ友(ネット友達)**」がいるとのこと。

※ニフティキッズ 子どものホンネ調査レポート「ネッ友」について(2024年)

なお、たいていのSNSは利用規約によると**13歳以上**でなければ利用することができません。ただ、小学生でもSNS等を使って「ネッ友」と交流している現実があります。

「ネッ友」と※VCで
通話しながらゲーム



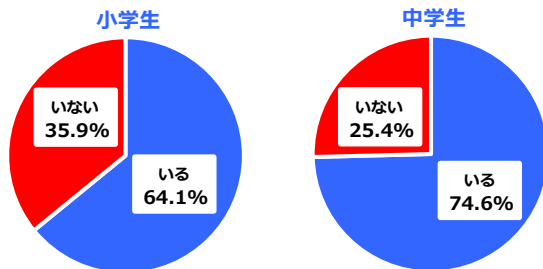
※ボイスチャット(音声通話機能)

オープンチャット
(2019年8月リリース)



LINEの中の掲示板！？
知らない人達と交流

ネット友達はいますか？



※ニフティキッズ 子どものホンネ調査レポート「ネッ友」について(2024年)よりデータを引用
調査は2024年6月11日から7月15日にかけて「ニフティキッズ」利用者向けにネット上で実施。
小中高高校生2547人から回答を集めた。うち女性80%、男性8%、不明12%。

ちなみに、この調査によると「ネッ友」ができたきっかけのトップは「**ゲーム**」でした。次いで「LINEのオープンチャット」「X(旧Twitter)」と続きます。

なお、回答では「リアルな友だちよりもネッ友の方が居心地がいい」「素の自分が出せる」といった意見があり、**気楽に付き合える**ことがポイントのようです。

★ネットでの出会いが普通になりつつある？★

こども家庭庁の調査※によると、結婚の出会いのきっかけは25.1%の人がマッチングアプリで、既婚者の56.8%がアプリを利用していたそうです。※全国の15～39歳の2万人(未婚者1.8万人、既婚者2千人)が回答(2024年)

しかし、ネットでの出会いでは大人でも騙されてトラブルに巻き込まれることがあります。裏に潜む危険を見抜いて、自分自身で**リスク管理**をする必要があります。

ネットの出会いにおいてリスク管理ができない子どもは**詐欺**等の**各種犯罪**に巻き込まれる可能性があります。**性犯罪**も法律は整備されましたが、被害を受けてからでは遅いのです。



ネッ友の本当の姿は分からない...

様々な価値観の人が参加するSNSにおいては、ものごとを簡単に「**(s)信じない・(k)期待しない・(A)あてにしない**(s・k・A三原則※)」といった姿勢が自分を守ります。子どもの価値観を尊重した上で、「ネッ友」との付き合い方について話し合うことが重要です。

※ポールトゥウィン株式会社が提唱する「令和の”SNS三原則”(S・K・A三原則)」(2023年)